

としょかん つうしん

6月号



暑くなって外で遊ぶことが増えると、空を見上げることも増えますね。
今月は、空に関係のある絵本を集めました。

年少くらいから



「わゴムはどのくらいのびるかしら?」

マイク・サーラーぶん ジェリー・ジョイナーえ
きしだえりこやく ほるぷ出版

ある日、ぼうやは、わゴムがどのくらいのびるのか、試してみます。わゴムをベッドに引っ掛けて、手に持ったまま外へでて、自転車、バス、汽車、飛行機と乗り継いで…。ぼうやの持つゴムが想像以上に伸びていき、ドキドキすること間違いなしの絵本です。

年中くらいから



「これはおひさま」

谷川俊太郎ぶん 大橋歩え 復刊ドットコム

(絶版：福音館書店・ブッキング)

「これは おひさま」「これは おひさまの したの むぎばたけ」「これは・・・」とページをめくるごとに言葉が積み上がっていく絵本です。最後は何で終わるかな？リズムが良いので、お子さんと一緒に声に出して読むと楽しいです。

年長くらいから



「あめがふるとき ちょうちょうはどこへ」

メイ・ゲアリック文 レナード・ワイスガード絵
岡部うた子訳 金の星社

雨がふるとき、ちょうちょうはどこへ行くのでしょうか。もぐらやみつばち、ことりはどうするの？そんな皆の質問を一緒に考えてくれる絵本です。雨の日に、動物たちを探してみたいくなりますよ。詩的な文章と物静かな雨の情景を描いた絵が印象的です。

※対象は目安です。